

■■■ 第9陣 第三国定住ミャンマー難民支援の近況 ■■■

4月よりNPO部門で勤務させて頂いております大石貴之と申します。学生時代には外国にルーツをもつ子どもの学習支援などに参加させて頂いておりました。卒業後は会社員をしておりましたが、この度また事業に参加させて頂くことになりました。ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

さて、3月15日より受け入れを開始した第9陣第三国定住ミャンマー難民(5家族22名)の近況をご報告させて頂きます。22名の生活基盤を整えるのは大変なことでしたが、引っ越し当日の作業をはじめとして大変多くの方のご協力と、家具や学用品等物資のご厚意を頂き、無事に生活を開始することができました。これまでお世話になった関係各位に御礼申し上げます。

学校関係につきましては、保育園、小学校でそれぞれ入園式、始業式や入学式があり、11名の子どもたちがそれぞれの場所での新生活を開始しました。提出書類や持ち物、宿題、先生や友達とのコミュニケーションなどに手厚いサポートが必要ですが、熱心な先生方(学校)サポーターをはじめとする皆様のご協力のおかげで円滑なスタートを切ることができました。入学式で桜の下で記念撮影する姿や、始業式で全校児童に立派に挨拶する姿、それを嬉しそうに見ている母親の姿など、これからの生活に期待が持てる風景が見られました。

お父さんお母さんの各職場にも順次ご挨拶に伺っております。職場での適応レベルに個人差はあるようですが、総じて真面目に働かれており、周囲の方々の温かいご指導や気遣いもあって、楽しく職場に通うことが出来ている様子です。

これまでに迷子や発熱などトラブルも発生しましたが、周囲、近隣の方々の助けを得て対応を進め、今のところ無事に生活ができております。生活のサポートをまめに行うために週一回は家庭訪問を行ってフォローする体制をとっています。今後も職場や学校、家庭などで想定外のことが発生することもあると思いますが、可能な限り柔軟に対応し、安心・安全な暮らしをサポートして参ります。

神戸での生活において特に欠かせないものとして日本語能力が挙げられます。東京での半年間の研修を終えているためゼロベースではありませんが、自分の住所を書けない、話せないなど、まだまだ生活に十分なレベルではありません。そのため毎週土曜日に10時から15時までKFCで日本語学習を実施しています。学習の間、小学生未満の子どもたち6名についてはボランティアの協力を得ながら別室で保育を行うことで、参加者が集中して学習できる環境づくりを心掛けています。各人熱心に取り組んでおり、日本語能力は着実に上がっており、日本語能力検定への挑戦も話に挙がってきているようです。

■■■KFC日本語プロジェクト■■■

◆「しんさくら日本語教室」

トップページで紹介のあったご家族向けに3月23日から日本語教室を開催しています。

主体的に学ぶ場であるという意識を持ってもらうためにクラスの名前を自分たちで考えてもらいました。1回目に宿題として出し、2回目に話し合いをしました。一人一つ自分がいいと思う名前をあげていってどうするか、その理由も言ってもらいました。花の名前や新長四郎地多安意見弁幸まな先添が篤伏ふゆの人が支持した「しんさくら」に決まりました。理由は、神戸に来てほしい日本の活動りだおゆま全員難民の気持ちをあらわしていること、それから「さくら」は日本で有名な花さんほふたが新鮮きヌもレの花のよう咲きたいと思っているということです。新しいという意味の「しん」にも多く感じられていると思いますが、生活。覚えてきた言葉の中で精いっぱい説明してくれたこと、さらに、おそれないための努力を一生懸命しておられます。覚えてきた言葉の中で精いっぱい説明してくれたこと、さらに、おそれないための努力を一生懸命しておられます。覚えてきた言葉の中で精いっぱい説明してくれたこと、さらに、おそれないための努力を一生懸命しておられます。覚えてきた言葉の中で精いっぱい説明してくれたこと、さらに、おそれないための努力を一生懸命しておられます。覚えてきた言葉の中で精いっぱい説明してくれたこと、さらに、おそれないための努力を一生懸命しておられます。

生活の基礎習慣も丁寧に説明を受けたのでしょうか、ごみ分別のこと、挨拶のこと、ルールを守ること等、とてもきちんとされています。礼儀正しく私たちが教えられることも多くあります。

子どもたちは4月から元気に学校に通っています。東京で半年ほど日本語を勉強してきたので言葉がわからず困っている様子はありません。うまく学校生活をスタートさせられたのではないのでしょうか。

私は5家族の方々と一緒にいる時間を楽しんでいます。また表なり影なりで家族を支える方々のご尽力を思うと自分も負けずにがんばろうと思えます。サポートを申し出てくださる方もたくさんいらっしゃいます。将来的にはサポートが要らなくなるように力を尽くすのが私の役目ですが、もうしばらくは日本語学習の支援をしていきます。

そう考えると、もう既に「難民の方々」ではありませんね。神戸の新しい住民です。一緒に神戸の街を盛り上げていきたいと思います。(奥 優伽子)

■■■ K F C外国にルーツを持つ子どもの学習支援 ■■■

◆進学状況

KFCで学習した中学生の2018年度の高校進学は、公立1名、私立5名に決まりました。希望する高校への進学がかなわなかった中学生もいましたが、全員進学が決まり、今年もほっとしています。

かつてKFCで学習し、大学進学してから学習支援を手伝いに来てくれる大学生も増えてきています。成長してから同じような背景を持つ後輩の支援をし、その後も立派に社会人になっているのを見ると大変頼もしいです。

◆進学状況

1月～3月まで就学前の子どものプレスクール事業を実施しました。今回の参加者はベトナム人の女の子4人でした。講師は元小学校教員の賀来秀子先生が務めてくださり、ひらがなや数字だけでなく、語彙を増やすことに重点を置いた学習を楽しく進めていただくことができました。

またプレスクールと並行して、保護者向けの小学校入学説明会をしました。小学校でも通訳付きで説明会がありますが、少人数での丁寧な説明会を行うことで、小学校の説明会では理解できていなかった持ち物や算数セットに貼る名前のシールについてなどの理解をしてもらうことができました。

◆幸せの黄色いレシートキャンペーン

毎週金曜日に実施しているKFCみんなのダイニングでは、ダイエー名谷店の幸せの黄色いレシートキャンペーンに参加させていただいています。

これは、毎月11日の「イオン・デー」に実施されているイオングループの社会貢献の一環の「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」で、お客さまが受け取った黄色いレシートを地域のボランティア団体名が書かれた店内備え付けのBOXに投函していただくことで、レシート合計の1%分の品物をイオンから各団体に寄贈していただける取り組みです。

昨年1年間、多くの方がご協力くださり、14817円分の商品をご寄贈いただきました。

今後も1年間設置していただけることになりましたので、毎月11日にダイエー名谷店をご利用の際は、ご協力をお願いいたします。

■■■ ハナの会 ■■■

◆ハナの会 花見

毎年、この季節になると、お花見の話で盛り上がります。今年はどうしようという話をしている時、グループホームハナが行っているノエビアスタジアム神戸の話を聞き、そこにしました。いつもと場所を変えたことにより、いつも見ているので今年には行かないと言っていた利用者さんも参加して、「近くにこんな広いところがあったんだ」と喜んでいました。何より、今年の花見は天気もよくて丁度タイミングよく桜が綺麗でした。

ハナの会の花見の初めの頃はBBQをして、歌を歌って盛り上がる一大イベントでしたが、高齢化とBBQへの規制などにより、近年は花を見て、団子を食べて帰ってくるという形になりました。それだけでは寂しいと、今年は広い場所ということもあって、輪投げなどをもっていきました。輪投げに参加した利用者さんは「室内と違って風の影響でなかなか入らんな」という感想が多かったです。花見初参加者にはボ・タン・タムと後藤なる美二人の新しいスタッフがいました。二人は介護福祉士と初任者研修を持っていて、とても優しく利用者さんに大人気です。花見に参加して「外に出ることは普段と違い、とてもいいですね」と利用者との普段と違ったコミュニケーション活動に励んでいました。

来年も花見はノエビアスタジアム神戸にしようかなと思いながら、最近バリアフリーの施設も増えてきていますので、どこかで利用者の皆さんとBBQ遠足ができたらいいなと考えています。（呼和徳力根）

■■■ KFC中国帰国者支援事業 ■■■

◆第二期のボランティアが決まりました

2010年の聞き取り調査を終え、2011年6月から始まったKFC帰国者新長田交流会（帰国者交流会）は、今年で8年目となりました。現在では毎週50名を越える帰国者たちが、帰国者交流会に参加しています。教室の特徴の一つは設営や準備などの運営にも帰国者二世の人たちが積極的にボランティアで関わっています。現在まではリーダー村井健司さんをはじめ、仲松兰子さん、脇佐知子さん、佟庆江さん、李贺さん5人がボランティアをし、様々な活動の中心となって行ってきました。当事者ボランティア制度を考えた当初、毎年選挙をし、多くのメンバーに関わりをもってほしいと思っていましたが、なかなか実施できませんでした。2017年度末にやっと半分選挙を行い、そして残りの第二期のボランティア選挙を2019年3月5日に行い、吉田健一さん、安振富さん、郭振奪さん、刘彦琴さん、刘桂丽さん、李会文さんの6人（一世が2人、二世が4人）がボランティアとして選ばれました。3月19日は第一期と第二期ボランティアの引継ぎを含めた合同ミーティングが行われ、吉田健一さんがリーダーに選ばれ、皆さんで中国語のボランティア規則を確認しました。当日、第一期ボランティアへ金理事長からの感謝状と記念品の贈呈式と第二期ボランティアの紹介が行われました。新しいリーダーの吉田健一さんからはスタッフと協力し、お互いに助け合い、自主的に働き、明るく生き生きとした交流会を作っていきたいと思いますという挨拶を頂きました。

中国語のボランティア規則

带头积极学习日语

照顾好一世高齢者

积极参加各项活动

不泄露个人的信息

遵守社会规章制度

日本語訳

自ら積極的に日本語の勉強に励むこと

高齢者の帰国者一世に寄り添い、話を耳に傾き、面倒を見ること

交流会はもちろん、他祭りや遠足など各種のイベントに積極的に参加すること
個人情報情報を漏らさないこと

社会のルールや規則を守ること

■■■ グループホーム・小規模多機能型居宅介護ハナ ■■■

◆グループホームハナお花見

4月7日にグループホーム2階3階と合同でお花見に行ってきました。

最初の予定では3月末に行うはずでしたが、あいにくの天候不良により延期となっ
てしまい、せっかくの桜が散ってしまわないだろうか心配しましたが、当日は晴天で暖かくお花見には絶好の日和でした。

ノエビアスタジアム横の御崎公園はたいへん広く芝生が青々とし、公園内には人工の川やベンチがたくさん設置されており、家族連れの人々が多数お花見を楽しまれていました。

子供たちが楽しそうに遊んでいるすぐ横のベンチに座って、今が旬の筍弁当を美味しく頂きました。久しぶりに外で食べるお弁当はひととき美味しく感じます。

歩ける人は少し公園内を散策されたり、歩くのが少し不安な人はベンチに座って風に散る桜の花を眺めながら、春のひとときを楽しまれました。

「楽しかったわ」「綺麗かったね」と喜んでいただけただけの反面、おもわぬハプニングで出発前よりバタバタしてしまい、移動に時間がかかったり、長時間待っていただいたりしてしまいました。その為に入居者の方々やご家族様にご心配をおかけしてしまう事になってしまったことは今回のお花見の反省点です。次回は今回の反省をいかして、余裕を持った行動ができるようにしたいと思います。（利 利香）

■■■ 今後の予定 ■■■

◆ 今後の予定

■ ふたば国際プラザ

6月1日(土)11時～オープニングパーティ

■ K F C 帰国者新長田交流会

神戸まつりパレード

「KFC帰国者交流会 神戸秧歌隊」 15:28～出発予定